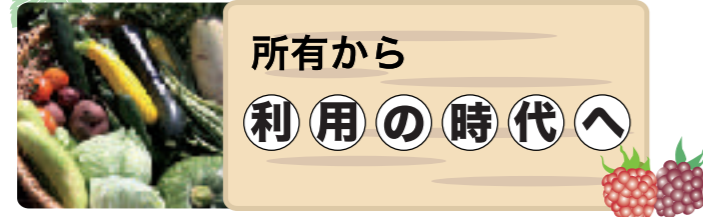


私にも出来る事



所有から
利用の時代へ

「森にかかわる達人」

白井 健二さんのお話は、まだまだ続きます！

Q5. 私達にできることは？

一歩目を踏み出す場所は、必ずしも田舎でなければいけないということはありません。都会の中で種をプランターに一個植えるだけでも、自然との関わり、自然の畏敬、素晴らしいさを理解できることがあります。少し変わるだけなのです。物の見方を変えることでいいんです。僕らは効率ばかりを重んじてしまっても、効率の外にあるムダなものが世の中を救ってきた気がします。東日本大震災以降、安曇野に移住してきた家族が増えました。今まで大きな会社に務めていた人が半分農業をしながら土木作業をしています。企業に勤めるのではなく、そのような暮らしでも生きていけるのだと自信を持った人が増えてきました。都会の物質的な豊かさも一つの方向としては悪いことではないです。ただ、お金がなくても精神的に豊かに暮らせるというのが田舎の良さだと思います。お金を稼ぐのではなく、お金を使わないということ、所有から利用の時代へとシフトしているのではないのでしょうか。

白井さんのオススメ書籍

「ほくを探しに」
シェル・シルヴァスタイン著
倉橋由美子訳
主人公が自分の中に欠けている欠片を探しに旅にでる物語です。しかしその欠片を見つけても幸せにはなれません。幸せは何かと考えるきっかけとなる一冊です。



もり沢山 森の体験レポート

田舎で生まれ育った私にとって、森の学校はふるさとのようなもので、訪れる度にたくさんのパワーやエネルギーをもらえるパワースポットでもあります。今回も広島でたくさんのパワーをもらうことができました。

今回は広島地区の「森の学校フェスティバル」への参加ということで、多数の参加者がおり、以前にも増して森の学校の盛況ぶりを感じました。私が参加したイベントの中では、「アースワーク」が特に印象に残りました。ガイドさんと一緒に森の中を歩き、葉っぱや木の匂いを感じたり、道の途中でクリを拾って、その場で剥いて食べたり、耳を澄まして自然の音を聞いたり、五感を使って森と触れ合いました。日常で使う五感と違って、自然を十分に感じ、心が落ち着きました。また各イベントのサポートをしてくれた方々の姿を見て、森の学校は確実に人も育てているのだと感じました。今回、森の学校で遊んでいた子供たちが、リーダーの姿を見て、何年後かにリーダーとして森の学校に戻ってきてくれたら、素敵だろうなとも感じました。



森の学校が未来永劫に発展し続けることを願うとともに、私自身も今後も積極的に森の学校の活動へ参加したいと思う一日でした。

樹になる話



笑う門には福来る

もうすぐ正月。正月と言えば玄関先に「門松」を飾るが日本の伝統です。門松というからには松が中心と思いきや、最近は竹を中心に据えているものが多く、地域によって大きさや形は様々あります。最近ではポスターなど印刷したものや、門松を置かない家も増えていきます。季節の行事が廃れる中、せめて1年のスタートである正月は伝統を見直したいのです。



ろうきん森の学校 活動予定

富士山地区

- 柚野エリア
- 田賀湖エリア
- 御殿場エリア

福島地区

- 湯ノ岳エリア
- 岩出・好間・藤原エリア

広島地区

12月

日程 里山つなぎ隊12月1~2日
内容 竹林整備
対象 18歳以上の男女
費用 2,000円

日程 里山のようちえん12月8日
内容 東海自然歩道を走る10km程度走れる方
対象 小学生以上~大人
費用 1,500円

日程 おいしい里山物語12月16日
内容 熊野とジエッキング
対象 満3歳以上~大人
費用 大人3,500円、子ども2,500円

日程 12月16日
内容 自然観察会、ソバ打ち体験、野外料理体験
対象 どなたでも参加できます 費用 500円

定例作業 (誰でも参加できます。当日9時、現地集合)
■ 第1、第3土曜日・毎週水曜日...森林整備
■ 第2、第4土曜日・毎週月曜日...農作業
■ 第1、第3日曜日...調査
■ 第2、第4土曜日...自然体験プログラム勉強会

日程 毎週木曜日
内容 平日作業隊
対象 誰でも
費用 無料

1月

日程 1月19~20日
内容 餅つきと味噌作り
対象 3~6歳の子とご親
費用 大人13,000円、子ども9,000円

日程 1月20日
内容 種物からマッサーオイル作り
対象 小学生以上
費用 1,500円

日程 1月20日
内容 自然観察会、ネイチャークラフト、花染作り体験、野外料理体験
対象 どなたでも参加できます 費用 500円

定例作業 (誰でも参加できます。当日9時、現地集合)
■ 第1、第3土曜日・毎週水曜日...森林整備
■ 第2、第4土曜日・毎週月曜日...農作業
■ 第1、第3日曜日...調査
■ 第2、第4土曜日...自然体験プログラム勉強会

日程 1月13日(日)
内容 森のカフェ
対象 誰でも
費用 2,000円

日程 1月14日(月)
内容 とんど
対象 誰でも
費用 無料

2月

日程 おいしい里山物語2月17日
内容 味噌作り
対象 満3歳以上~大人
費用 大人3,500円、子ども2,500円

日程 2月17日
内容 自然観察会、キノコ植菌体験、野外料理体験
対象 どなたでも参加できます 費用 500円

定例作業 (誰でも参加できます。当日9時、現地集合)
■ 第1、第3土曜日・毎週水曜日...森林整備
■ 第2、第4土曜日・毎週月曜日...農作業
■ 第1、第3日曜日...調査
■ 第2、第4土曜日...自然体験プログラム勉強会

日程 2月17日(日)
内容 森のカフェ
対象 誰でも
費用 2,000円

Information: NPO法人ホールアース研究所 〒419-0305 静岡県富士市下柚野165 TEL:0544-66-0790 FAX:0544-67-0567 E-mail: forest@wens.gr.jp HP: http://wens.gr.jp

Access: 電車:JR身延線「富士宮駅」よりタクシー15分 車:東名高速道路富士I.C.より西富士有料道路経由40分

Information: NPO法人いわきの森に親しむ会 〒970-8326 いわき市常盤藤原町湯の岳2湯ノ岳山荘内 TEL:0246-44-3273 FAX:0246-44-3273 E-mail:yunodake@gray.plala.or.jp HP: http://www.i16.plala.or.jp/goan/

Access: 電車:JR常磐線「いわき湯本駅」よりタクシー15分 車:常磐自動車道いわき湯本I.C.より10分

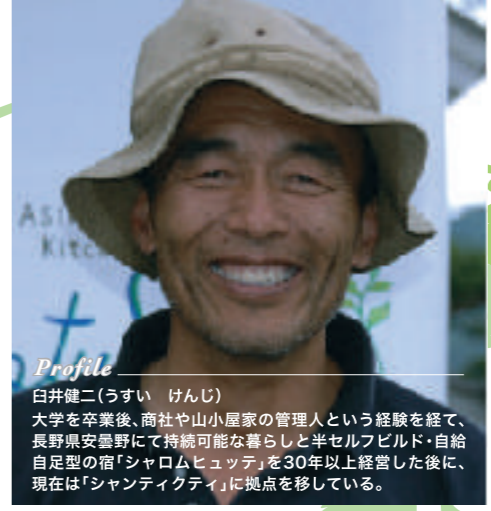
Information: NPO法人ひろしま自然学校 〒733-0004 広島市西区打越町11-8-207 TEL:082-237-1163 FAX:082-237-8863 E-mail:inkk2002@mac.com HP: http://www.hs-gakkou.jp/Access

Access: 電車:JR山陽新幹線「広島駅」よりバス60分 車:広島自動車道広島北I.C.より20分



森の学校だより

富士山、福島、広島の3地区で、森・人・地域を育てる10年間のプロジェクト vol.27



森羅万象

シヤロムヒュッテ・ジャンティクティ代表
白井健二さん

「足るを知る。本当の豊かさを考える」

今回のゲスト

「持続可能な暮らし」や「パーマカルチャー」など様々なキーワードを大切にしている、ジャンティクティの白井健二さんにお話を聞きました。



Q1. 活動概要について教えてください。

ジャンティクティは、家庭の延長にある小さな宿というイメージを持ってもらえばいいです。自給自足の暮らしを支える畑や田んぼがあり、そこで取れた作物を加工してゲストに食事を提供しています。コンポストやコンポストバイオトイレを設置することで食事の際に出たゴミを肥料にして畑に入れるなど、循環可能な生き方を訪ねてくださった方々に見てもらえるような場所でありたいと考えています。

Q2. どうして持続可能な暮らしにアンテナが向いたのでしょうか？

大学卒業後は商社に就職しました。そこでは、自分が作ったものでないものを販売していました。他人が作ったものを右から左へと移す仕事ではなく、自分が生産し、それを誰かに提供して喜んでもらうことがしたくなりました。商社を辞めた後、山小屋にも勤めていましたが、そこは雨が降るとみんな濡れて、太陽が出るとその暖かさをみんな感じる、お金は関係のない世界、神の領域に近い世界でした。しかし本来人間は神の領域ではなく、もっと問題があるとどこで俗人として生きているのが本当の姿ではないかと思いました。また、山小屋は生産がなく消費だけです。それもなにか違うと思い、生産があり循環がある暮らしをしてみたいということ、山を降りて今のような暮らしを始めました。

Q3. ジャンティクティを舞台に様々な講座や活動していますがその目的はなんですか？

講座や活動を始めたのは人と人とのつながりが目的です。20世紀はつながりを切ってきた世紀のような気がします。「朝から晩まであなたはキーパッチャーをやってくれ」という社会は効率がいいです。でも、効率だけでは人間は暮らせません。仕事に対する満足度や人の役に立っている充実感が生きがいに通じるのではないのでしょうか。近年は「つながりを分断した」時代だったけれども、これからは「つながり合う」ということが必要な時代になってきているのではないのでしょうか。

Q3. 今一番力を入れている活動はなんですか？

今年の1-2月にパングラディッシュに行った際に、「種バンク」というものを知りました。パングラディッシュでは1960年代に先進国が指導し、農業と化学肥料を大量に使う米作りが推奨され、以前の倍近い量の米が収穫されました。これを緑の革命といいます。でも同時に経費がかかり、在来種などが失われ、問題点もたくさん出てきました。現在では有機農業へと転換していく動きが見られます。またそこでは、ハイブリッドなF1(一代交配種)のものではなく、自家採取した固定種を守りながら、種バンクというものが作られ、貸し出しされていました。帰国後食べ物、水、エネルギーと同様、種の自給も必要と感じ、地域の人たちとともに固定種を残していく活動を始めました。固定種を自分だけで持っていたら使わなければ劣化して芽が出なくなり、そうではなく、みんなで種を分かち合いたいです。それが種の素晴らしいところですよ。



ろうきん森の学校全国事務局
NPO法人ホールアース研究所
〒419-0305 静岡県富士市下柚野165
TEL: 0544-66-0790
FAX: 0544-67-0567
E-mail: forest@wens.gr.jp
HP: http://wens.gr.jp



※この通信は、古紙100%の再生紙ベジタブルインクを使っています。

富士山地区

柚野エリア

秀麗な富士の姿は元気の源 自然と関わる大切さを学ぶ



富士山冠雪

やはり、富士山といえば、この姿！毎日見ているだけでも全く飽きません。☑



どんと焼き

小正月の行事。火にあたり、焼いた団子を食べれば、1年間健康に。

狩猟

11月から2月までは狩猟シーズン。野生鳥獣との関わりから、農村の暮らしが見えてきます。

田貫湖秋祭り

今年で第7回を迎えることになった「ろうきん森の学校田貫湖秋まつり」。今年も富士山がドカンと見える秋晴れの中、盛り上がる事ができました。この祭りの魅力の一つは、多種多様な団体が一緒に取り組んでいること。地元郵便局、財産区、有機農家、環境省ビジターセンター、小学校、大学環境サークル、木工職人、きこり、静岡労金、富士山！カラダの学校等々。今年のテーマは「木と竹」。木や竹を使った体験教室やクラブを楽しみました。中でも、今回の目玉は、「竹ボックリレース」。手作りの竹ボックリで、年齢別に真剣勝負を行いました。竹ボックリで障害物を乗り越え、パンをくわえてゴールを目指しました。出店が充実しているのも、この祭りの魅力。富士宮やきそばや、マスの塩焼き、マスバーガー、地元の食材など、富士山ならではの「食」が、今年も楽しめました。興味を持ってくれた人は、来年に参加してみたいかがですか！



活動予定



「里山のようちえん」
日時：1月19(土)～20日(日)
場所：ホールアース自然学校
対象者：3～6歳の子どもと保護者
参加費：大人13,000円、
子ども9,000円



食育プログラム「里山のようちえん」1月はホールアースで作った無農薬の大豆とお米を使って味噌作りと餅つきをします。自然の恵みが盛り沢山です。☑

福島地区

湯ノ岳エリア

大径木が多数現存する大國魂 波立は照葉樹の密生地です

今回は冬の樹木観察のスポットを2カ所紹介します。

■波立(はったち)
海岸の樹叢(いわき市久之浜海岸、県指定天然記念物)
波立薬師堂境内及び丘陵の樹叢は福島県の太平洋沿岸で最も自然な状態で保護されているところ。暖地性の常緑樹を多く見ることができます。

■大國魂(おおくにたま)
神社樹叢(いわき市たいら菅波、市指定天然記念物)
いわき市の海岸に近い丘陵地帯の潜在植生の面影を多く残す林。四季折々観察できるが冬季の観察が良い。



波立 (はったち)

大國魂 (おおくにたま)

自然観察会1

9/16自然観察会と農作業体験を行いました。観察会の方は研修会にいられていた埼玉大学の荒木先生にも参加していただき、現在取組み中の湯ノ岳フィールドの案内冊子作成のためのアドバイス等をいただきながら進めました。農作業体験の方は藤原畑において、サツマイモとブルーベリーの収穫作業を行いました。野外料理での食材は畑からの収穫物とキノコ畑のものを中心に行いました。



活動予定



「自然観察会、ネイチャーラフト・花炭作り体験、野外料理体験」
日時：10月21日 9:00～12:00
場所：湯ノ岳山荘
対象者：誰でも
参加費：500円

冬の自然観察会をしながら花炭作りの材料を集めた後に、森の工房でネイチャーラフト作りを行います。野外料理体験希望者には作り方を指導します。

広島地区

真っ白な雪と赤い実のコントラスト 積雪に残る足跡を探す林の探索

1月から2月中ごろまで、積雪に覆われ、林を探索すると森の生き物の足跡などを発見することができます。また林床には積雪までの間、赤い宝石を散りばめたような実が見られます。



ヤブコウジ(藪柑子)・ヤブコウジ科

常緑小低木。7月頃白い花を下向きにつける。実が赤くなるまで目立たない。正月のしめ飾りなどに使われ、茎や葉は薬用にも利用される。俗称：十両(じゅうりょう)

ツリンドウ(蔓竜胆)・リンドウ科

つる性の多年草。林縁や林床の草木に蔓を絡ませて、初秋に淡薄紫色の花を咲かせる。果実は液果。

わくわく探検隊 森の遊び場づくり

5回シリーズで開催してきたわくわく探検隊の最終回が10月20日に開催されました。今回のテーマは「森の遊び場づくり」。15年後の自分は何をしているのだろうか？何をしたい？というテーマで、15年後にわくわく探検隊のメンバーが森の学校で同窓会をしたら、どんな格好でみんなと再会するのか、なりたい自分の格好をして、お気に入りの森で記念写真を撮るといった内容でした。サッカー選手、サラリーマン、教師など、みんななりたい自分に扮装して大いに盛り上がりました。出来上がった写真は1年間のフィールドノートに貼り、スタッフからのメッセージを添えて後日子どもたちに送り届けられました。



森の学校フェスティバルと森のふれあいコンサート

家族連れなど延べ約400人が訪れました。森の学校フェスティバルでは、ツリークライミングや石釜でのパンづくり、クラブや地元産野菜市場、丸太切り大会など、たくさんの遊びや体験メニューが用意され、思い思いに興味のあるコーナーで体験を楽しんでいました。また、森のふれあいコンサートでは、地元「楽遊会」や、プロのジャズ演奏者による歌や演奏にみんなで聞き入りました。この2つのイベントは、森の学校の運営団体であるNPO法人ひろしま自然学校と広島県労働者福祉協議会や中国労働金庫が協力して実行委員会を立ち上げて実施しているもので、今年で5回目を迎えました。

活動予定



「森のカフェ〜ダッチオープン&燻製料理編1〜」
日時：平成25年1月13日(日)
場所：ろうきん森の学校
対象者：どなたでも(中学生以下は保護者同伴)
参加費：一人2,000円



ダッチオープンや燻製器を使った美味しいアウトドア料理をみんなで作っていただきます。道具の使い方や手入れのほうほうなども学べる楽しいカフェです。☑